

説明的文章を読みとるための学びのキーワード(図表①)

文章構成 (実線) 要旨要約 (点線) 主張と根拠 (破線) 表現の特徴 (長短線)

「単元名」教材名		学びのキーワード			
小1	「くらべてみよう」くちばし・じどうしゃくらべ 「ちがいをかんがえてみよう」どうぶつ の赤ちゃん	時間を表す言葉	問いと答え	くらべて読む	違いを考えて読む
小2	「読んでわかったことをまとめよう」たんぼのちえ 「読んで考えたことを書こう」どうぶつ 園のじゅうい 「読んでせつめいのしかたを考えよう」 しかけカードの作り方 「知っていることとつなげて読もう」おにごっこ	順序を表す言葉	はじめ・中・終わり	わけを表わす言い方	文をつなぐ言葉
小3	「読んでかんそうをもとう」イルカのねむり方 ありの行列 「せつめいのしかたを考えよう」すがたをかえる大豆 「かるたについて知ろう」かるた	段落とは	文章全体の組み立て方	大きなまとまり	繰り返し出てくる言葉
小4	「読んで自分の考えをまとめよう」大きな力を出す 「説明のしかたについて考えよう」 アップとルーズで伝える 「科学読み物をしょうかいしよう」ウナギのなぞを追って	段落相互の関係	文章全体の構成	目的に応じた要約	段落の中心になる文
小5	「筆者の考えをとらえ自分の考えを発表しよう」 見立てる・生き物は円柱形 「伝記を読んで自分の生き方について考えよう」 百年後のふるさとを守る 「説明のしかたについて考えよう」天気予想する 「自分の考えを明確にしながら読もう」 ゆるやかにつながるインターネット	小さな問いと答え	論の進め方	要旨を読み取る	引用や要約を用いた自分の考え
小6	「文章と対話しながら読み自分の考えをもとう」 感情・生き物はつながりの中に 「自分の考えを明確に伝えよう」平和について考える 「ものの見方を広げよう」『鳥獣戯画』を読む 「言葉について調べよう」言葉は動く	構成の工夫	要旨から筆者の意図を捉える	事実と感想、意見	効果的な読み方
中1	「わかりやすく述べる」水田のしくみを探る 「的確に読み解く」ユニバーサルな心を目指して 「ともにわかり合う」この小さな地球の上で 「論理的に考える」信頼をつなぐ 「言葉の感覚を磨く」食感のオノマトペ	効果的な段落構成	論理展開を捉える	自分の考えをもつ	例示の効果
中2	「わかりやすく述べる」壁に残された伝言 「的確に読み解く」日本人はアリスの同類だった 「論理的に考える」循環型社会とは 「言葉の感覚を磨く」日本語のメガネのかけ替え	効果的な段落構成	論理展開を捉える	目的に応じた要旨をまとめる	主張の根拠を読み取る
中3	「わかりやすく述べる」冥王星が準惑星になったわけ 「判断して説明する」文殊の知恵の時代 ともにわかり合う・海馬 「言葉の感覚を磨く」ありがとうと言わない重さ	効果的な段落構成	論理展開を捉える	目的や相手に応じた論理展開	図表を読み取る
				指示語・接続語	図表の用い方の工夫
				具体と抽象	図表の用い方の工夫
				根拠の妥当性	語句の言い換えとその効果
					筆者独特の言葉の使い方

めざす学びの姿(図表②)

